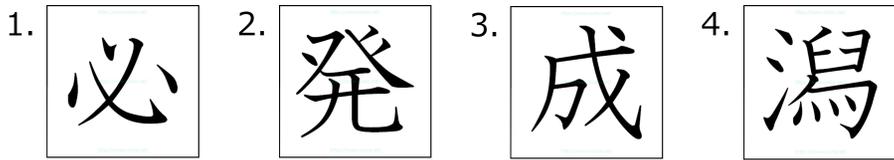


研究アイデアの概要

小学校の途中から姿を消していった「筆順」。字を書く機会が少なくなっている現代において、筆順とは、特に日本人にとっての筆順とはいったい何なのか？ 時間と空間という二つの面で「書」をみたとき、筆順は時間性を有する。一方で日本における時間的なもの、アイデンティティは天皇であるが、今日どれほどの人が天皇について真剣に考えたことがあるだろう？ 字をきれいに書くには、現代の日本人にとっての筆順の重要性を認識するとともに、その手段として前衛的なもの、すなわち芸術であり書の実践がなされねばならない。

「筆順」甘く見ていませんか？

筆順クイズ (答えはポスター右下)



筆順による字形の変化

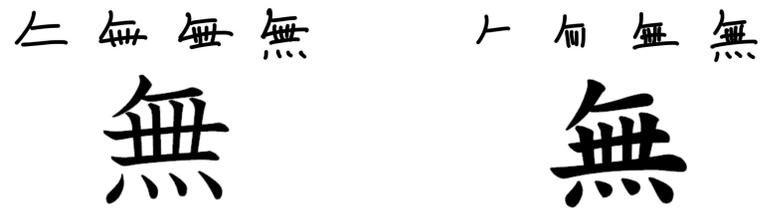
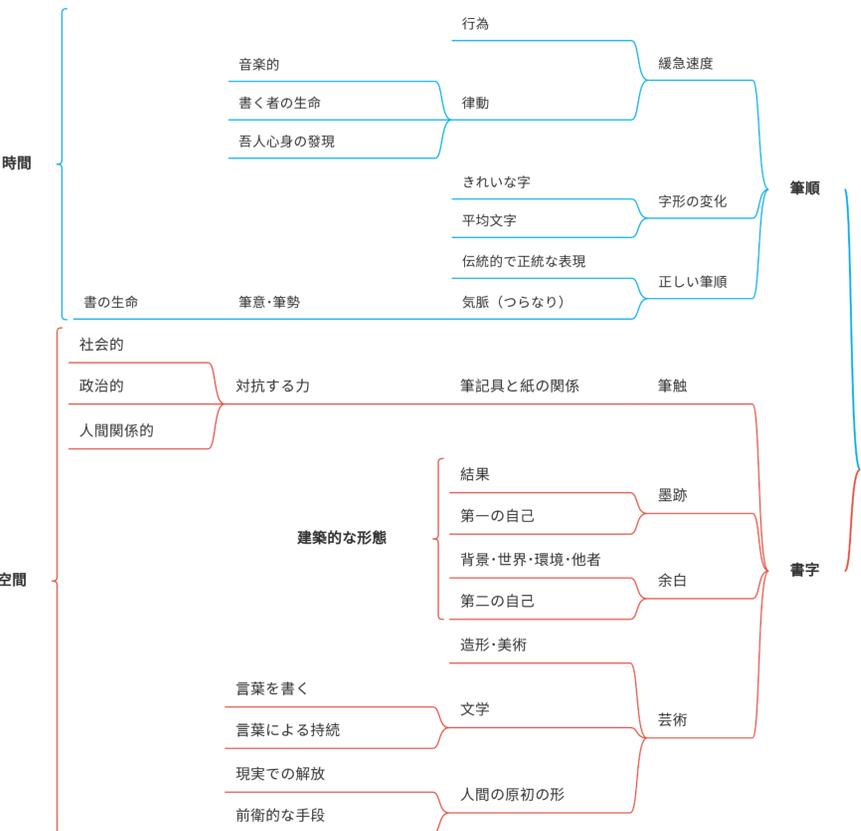
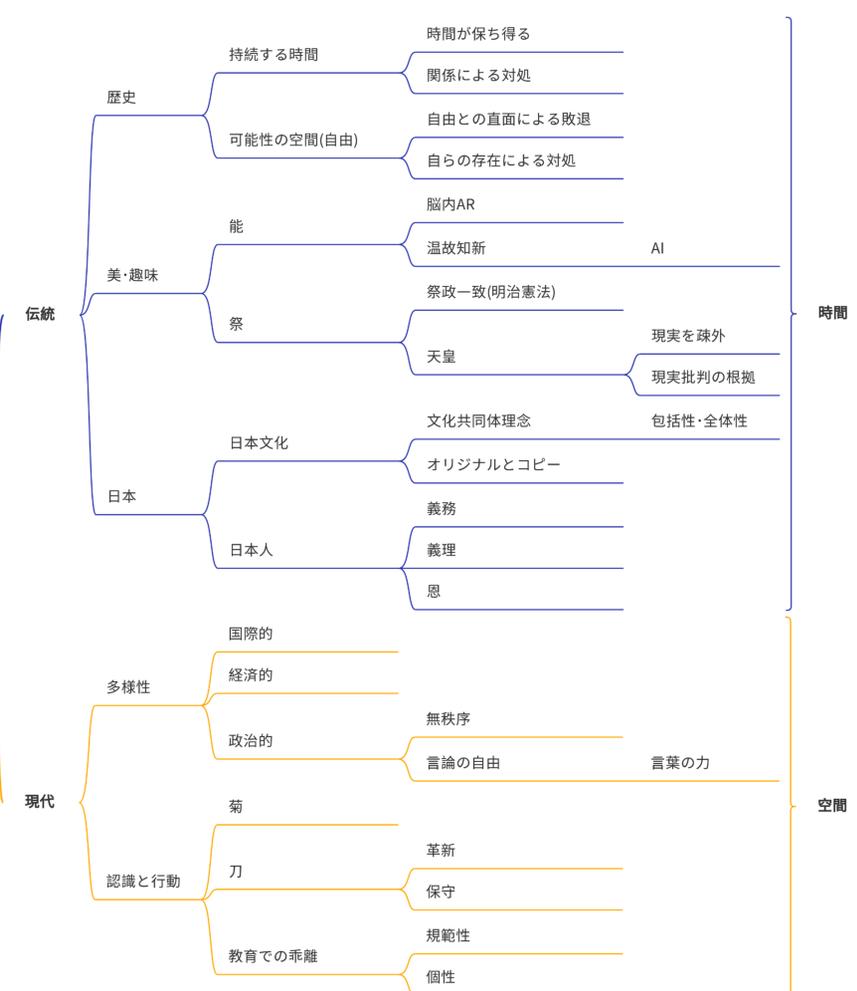


図1. 文科省式の「無」

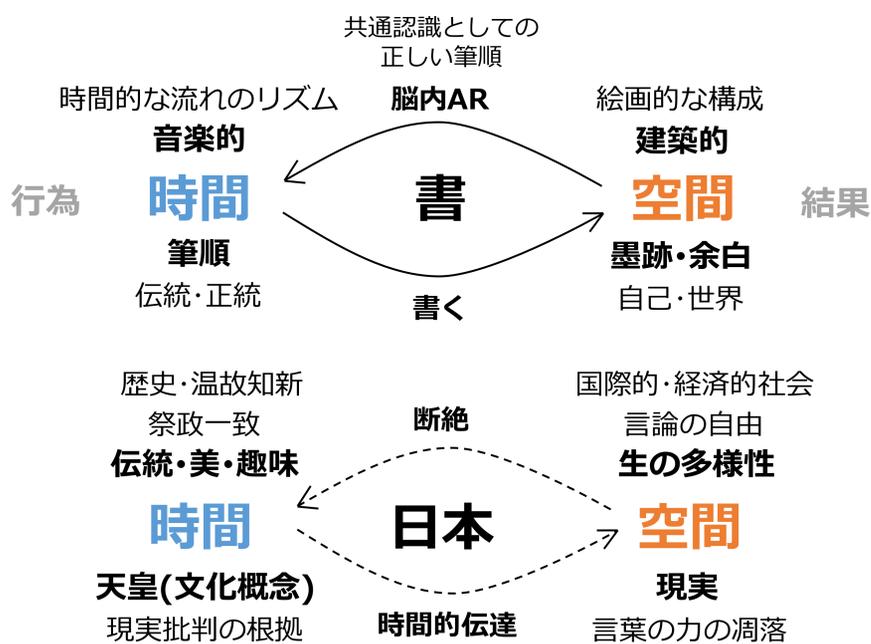
図2. 歴史的な「無」



字をきれいに書くための筆順とは



失われた時を求めて



現代の日本人が字をきれいに書くには、各人が文化概念としての天皇について考えることが不可欠

現実を変革するには、言葉の力を前衛的に復活させることすなわち書の復活が望まれる

参考文献

秋山英治(2014).『初等教育における筆順指導の現状について』『愛媛大学法文学部論集(人文系編)』vol.37.
石川九機(1994).『書とはどういう芸術か』.中央公論新社.
石川九機(2009).『書く-言葉・文字・書』.中央公論新社.
石橋屋水(1975).『新書道概論』.日本習字普及協会.
園道祐之(1919).『現代書法論』.有朋堂.
桑原翠邦(1952).『筆順について』.
財前謙(2010).『字体のはなし-超「漢字論」-』.明治書院.
中村善一(2008).『日本語筆跡に現れる個人性の抽出とオンライン筆跡照合に関する研究』.
平山親月(1964).『書の芸術学』.有朋堂.
松本仁志(2012).『筆順のはなし』.中央公論新社.
三島由紀夫(1969).『文化防衛論』.新潮社.
宮沢正明(2013).『新・字体と筆順』.光村図書.
文部省(1958).『筆順指導の手びき』.
文部科学省(平成29年告示).『小学校学指導要領』.
吉田悟(2018).『小学校書写における楷書指導の現状と課題』.
清水文博,角田勝久(2017).『教員養成における筆順指導-「瀉」の筆順を起点として-』.
中村聡史,鈴木正明,小松孝徳(2004).『平均文字は美しい』

- 筆順クイズの答え
1. 必 必 必 必
2. 発 発 発 発
3. 成 成 成 成
4. 瀉 瀉 瀉 瀉